

有機無機複合型コーティング剤

SEAL COAT 007R

シールコート SERIES

LINE UP:シールコート007R, NKジンク

価値ある財を子供たちへ

株式会社 日興

シールコート007Rの概要

● 商品概要

「シールコート007R」は無機物(ガラス、セラミック等)と有機物(プラスチック、ゴム等)をハイブリット化することにより、無機物の特性(耐候性、耐水性、高硬度等)と有機物の特性(加工性、柔軟性、密着性等)を兼ね備えた有機無機複合型の2液性コーティング剤です。
「シールコート007R」はセメント系下地、各種金属製下地、既存塗装面等各種基材に対し、優れた密着性を示します。また、鋼材防錆用プライマー「NKジンク」塗布後の上塗り剤として使用することで耐候性の高い防錆被膜を形成します。
塗装後の被膜は高い光沢保持率を保ち、耐汚染性に優れた被膜を形成します。

● 物質特性

主成分	ポリシロキサン・アクリル樹脂	外観	クリアーまたはカラー
性状	2液性	配合比率	クリアー(主剤3:硬化剤1) カラー(主剤4:硬化剤1)
臭気	溶剤臭	粘度	30秒
比重	(クリアー)0.96g/ml (カラー)1.17g/ml	固形分	30%

● 硬化時間

指触乾燥	20分(20℃)	半硬化	3時間(20℃)
標準硬化	24時間(20℃)	完全硬化	1週間(20℃)
ポットライフ	2時間(20℃)	塗り重ね時間	3時間(20℃)

● 用途

新設・既設を問わず各種構造物に対し使用可能です。

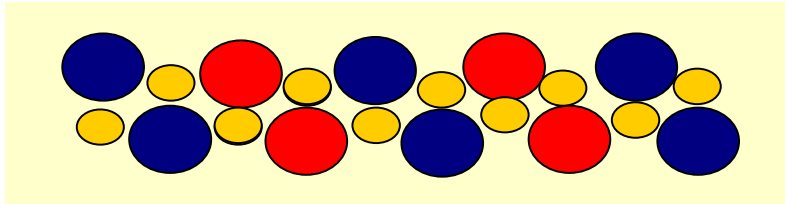
◆鋼材 ◆コンクリート ◆モルタル ◆スレート ◆既存塗装面 ◆樹脂


* 対象物(特に既設塗装面、樹脂)によっては付着性が悪い、リフティングを起こす等の不具合を起こす場合がありますので、事前にテスト塗りを行い、付着性、相性を確認してください。

● 特徴

耐候性	無機系塗料の特徴である美観保持力の高い被膜を形成します。
耐汚染性	汚れが付着し難く、付着しても除去が容易な被膜を形成します。
高密着性	幅広い素材に対し良好な密着性を示します。
施工性	ローラー、刷毛、スプレーいずれの方法でも塗装が容易です。
経済性	高耐久被膜はメンテナンスコストを軽減することを可能とします。

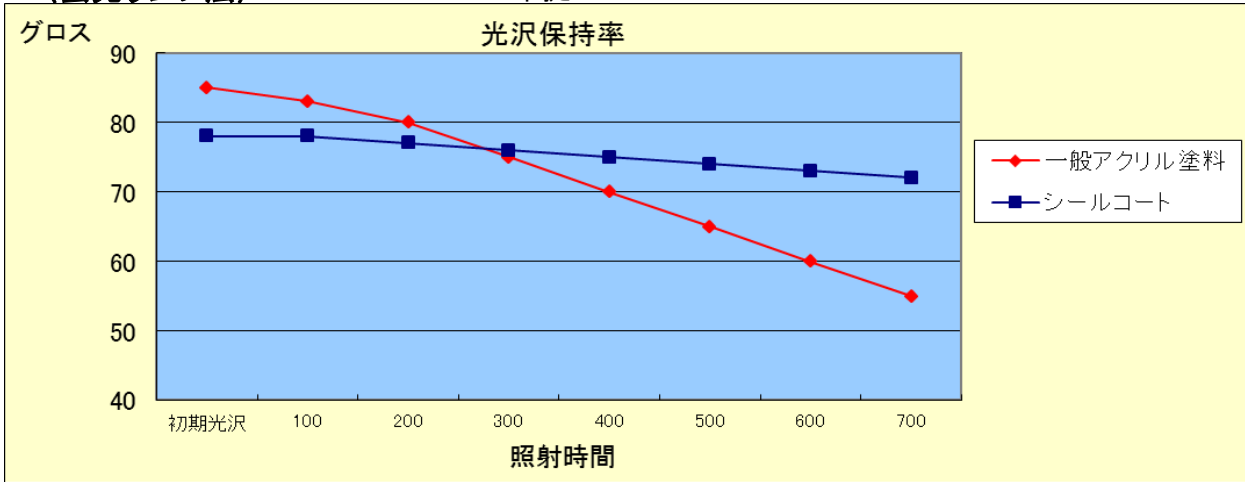
● 塗膜構造



	架橋剤
	ポリシロキサン
	アクリル

● 耐候性データ

〈蛍光ランプ法〉 JIS K5600-7-8に準拠



〈キセノンランプ〉

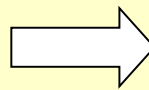
試験項目	試験条件	試験結果
促進耐候性試験2000時間	JIS K5600 7-7に準拠	塗膜の異常は認められない



試験装置



試験前状況



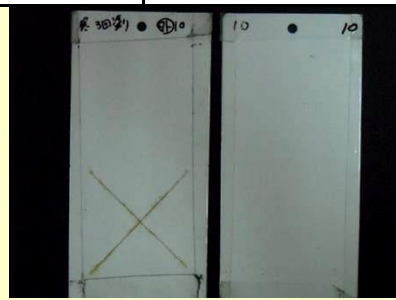
試験後状況

〈屋外暴露〉

試験項目	試験条件	試験結果
屋外暴露試験1年間	JIS K5600 7-6に準拠	塗膜の異常は認められない



試験状況



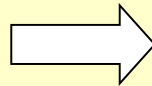
試験開始1年状況 (右はブランク)

● 塗膜性能

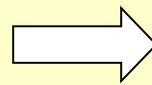
試験項目	試験条件	試験結果
鉛筆硬度	引っ掻き硬度 三菱ユニ	HB
付着性(鋼板)	クロスカット法	100/100
付着強度(鋼板)	建研式付着強度測定	0.7N/mm ²
付着強度(コンクリート)	建研式付着強度測定	5.62N/mm ² (凝集破壊)
耐衝撃性	デュポン式	40cm
耐カッピング性	エリクセン値	9.5mm
耐摩耗性	重量減少法(CS-17 1kg 500回転)	0.03g
耐酸性	5%-H ₂ S ₄ 溶液 240時間	異常なし
耐アルカリ性	5%-NaOH溶液 240時間	異常なし
耐溶剤性	メタノール 24時間	異常なし
	IPA 24時間	異常なし
	XL 24時間	膨れ
	TL 24時間	膨れ
	MEK 24時間	膨れ
耐水性	H ₂ O 1ヶ月	異常なし

● 施工例

〈格納庫土間コンクリート〉



〈擁壁コンクリート〉








施工前状況

施工後状況

● 標準塗装仕様

〈既設コンクリート下地〉

《以下の工事は最大限の効果が発揮できるよう、資格を持ったクリスタルコンクリート協会加盟店が責任施工で行います。》

工程	処理内容	備考
調査	塗布対象基材と塗布材料の付着性、相性を確認、作業工程、塗布使用量の確認の為、テスト塗りを行う。	
素地調整	<ol style="list-style-type: none"> ①高圧洗浄機、ポリッシャー、サンドペーパー等で付着物、レイタンスを除去する。 ②油脂、グリース、タール等はシンナーや洗剤を使用し除去する。 ③施工面の清掃を行い、粉塵等は除去する。 ④水分の除去。水分は剥がれや白化の原因となる為、乾燥確認を行う。 	
養生・材料混合	<ul style="list-style-type: none"> ●施工面以外をマスキングテープ等で養生を行う。 ●シーラコート007Rを使用量のみ容器に取り出し(クリヤーの場合 主剤:硬化剤=3:1 カラーの場合 主剤:硬化剤=4:1)、計測(重量比)後、混合・攪拌を行う。 	
下塗り	シーラコート007Rを刷毛、ローラー、スプレーガン等を使用し塗布を行う。 1回当たりの塗布使用量は0.08kg/m ² 。 壁面の場合は液垂れに注意する。	
上塗り	シーラコート007Rを刷毛、ローラー、スプレーガン等を使用し塗布を行う。 1回当たりの塗布使用量は0.08kg/m ² 。 基材の吸い込み度合いが多い場合は養生乾燥後、シーラコート007Rを再度、塗り重ねます。	

* 塗布使用量は標準です。基材の状況で変化します。

NKジंकの概要

● 商品概要

「NKジंक」は亜鉛粉末、エポキシ樹脂配合主剤、硬化触媒の2液1粉末で構成する鋼材の防食を目的とする常温硬化型の有機ジンクリッチプライマーです。亜鉛の持つ電気化学的防錆効果（亜鉛は鉄や鋼に比べ、イオン化傾向が高い為、それらの金属と接触することで犠牲防食効果を発揮する。）とエポキシ樹脂の優れた付着性能により、鋼材を錆から守ります。上塗りに「シールコート007R」を塗布することで「NKジंक」の持つ高防食性と「シールコート007R」の持つ高耐候性を発揮し、鋼材の保護被膜として様々な分野で使用することができます。

● 物質特性

主成分	エポキシ樹脂	外観	グレー
性状	2液1粉末	配合比率	主剤2：硬化剤1：粉末9
臭気	溶剤臭	粘度	12秒
比重	2.60g/ml	固形分	20%

● 硬化時間

指触乾燥	30分(20℃)	半硬化	3時間(20℃)
標準硬化	24時間	完全硬化	1週間(20℃)
ポットライフ	5時間(20℃)	塗り重ね時間	3時間(20℃)

● 用途

新設・既設を問わず各種鋼構造物(鋼材素地)に対し使用可能です。

● 塗膜性能

試験項目	試験条件	試験結果
付着性(鋼板)	クロスカット法	100/100
付着強度(鋼板)	建研式付着強度測定	0.7N/mm ²
耐塩水噴霧性	JIS K 5600-7-1(72時間)	塗膜の異常は認められない

● 特徴

防食性	亜鉛末の持つ高い防錆効果は暴露耐久性に優れます。
付着性	エポキシ樹脂の持つ高い付着性能で鋼材を錆びから守ります。
施工性	刷毛、ローラー、スプレーガンで塗装可能で速乾性です。

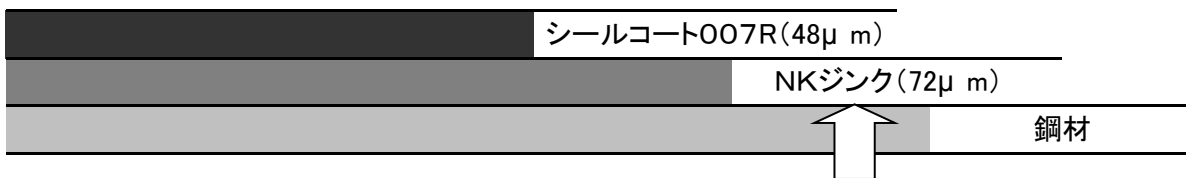
鋼材防食仕様の概要

● 使用材料

下塗り材料	NKジンク
上塗り材料	シーラコート007R

● 標準塗装仕様

工程	材料名	塗布回数 (回)	塗布量 (kg/m ²)	標準膜厚 (μm)	希釈率 (%)	養生 (時間)
素地調整	ブラスト工法により、錆び、黒皮、旧塗膜を除去					0~2
下塗り①	NKジンク	1	0.18	36	0~10	3
下塗り②	NKジンク	1	0.18	36	0~10	24
中塗り	シーラコート007R	1	0.08	—	20	6
上塗り①	シーラコート007R	1	0.08	24	0~10	3
上塗り②	シーラコート007R	1	0.08	24	0~10	24



素地調整:ブラスト処理(ISO-Sa2 1/2)、パワーツール処理等

※表面粗度の大きいブラスト面へ塗布する場合や、部材のエッジ部等のように塗膜が薄くなりがちな箇所への塗布の場合は、塗膜厚確保のため先行増し塗りを行う必要があります。

● 塗膜性能

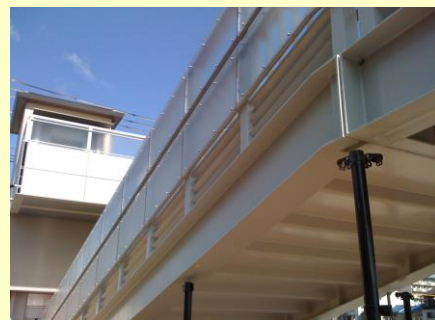
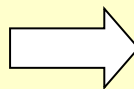
試験項目	試験条件	試験結果
促進耐候性	JIS K 5600-7-7に準拠(1000時間)	塗膜の異常は認められない
耐屋外暴露性	JIS K 5600-7-6に準拠(1年間)	塗膜の異常は認められない
耐塩水噴霧性	JIS K 5600-7-1に準拠(1500時間)	塗膜の異常は認められない

● 施工例

〈橋梁鉄部〉



施工状況



施工後状況

株式会社 日興

〒167-0043

東京都杉並区上荻1-24-19

シャイン荻窪ビルB1F

TEL 03-3393-7641

FAX 03-3393-7632

代理店